

「中学校給食導入の方向性」についての保護者意見について

○目的

平成25年度、教育委員会にて「中学校給食の導入に係る教育委員会検討会」を組織し、「大磯町立中学校給食に関する懇話会」の意見・検討内容を踏まえ、中学校給食の必要性や実施に向けての課題等の整理・研究を行いました。

本検討会では、学校給食に関するアンケート調査の実施・分析、中学校給食実施校の視察、給食方式ごとの特徴や課題の検証などを行い、中学校給食のあり方について、教育委員会としての方向性をまとめ、平成26年7月に、保護者の方々へ本検討会がまとめた「中学校給食導入の方向性について」の説明会を開催し、周知と意見収集に努めました。しかし、更なる保護者への周知と意見収集が必要と考え、改めて児童・生徒の全保護者に意見書の概要をまとめたパンフレットを配布し、合わせて自由意見を募集しました。

○周知と意見収集方法

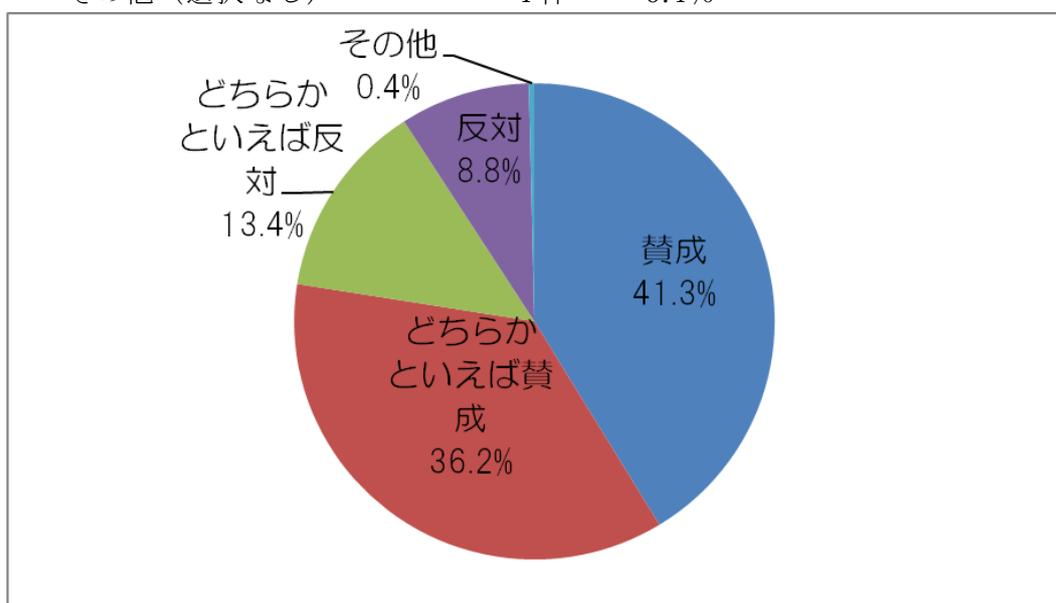
「中学校給食導入の方向性」の概要について記述したパンフレット、教育委員会が方向性を示した「デリバリー給食」についてのアンケート及び自由意見様式を配付【平成26年9月8日付】。

○回収結果

問) 教育委員会が方向性を示した「デリバリー給食」(調理・配送委託方式)について、どのように思われますか？

【配付数：1,992件、回収数：1,085件、回収率54.5%】

<input type="checkbox"/> 賛成	448件	41.3%
<input type="checkbox"/> どちらかといえば賛成	393件	36.2%
<input type="checkbox"/> どちらかといえば反対	145件	13.4%
<input type="checkbox"/> 反対	95件	8.8%
その他(選択なし)	4件	0.4%



○自由意見の傾向について

□賛成

「町の栄養士が献立をつくり、食材も安全なものを調達するので安心」、「仕事をしているので朝の弁当作りに負担を感じているので助かる」、「弁当は栄養が偏りがちになる、夏の食中毒にも気を使うので給食だと安心」などの意見が多く寄せられました。

信頼できる業者に委託することや給食の早期実施が望まれていました。また、給食をまず始めることは大事だが、将来的には自校給食への転換を期待する意見もありました。

□どちらかといえば賛成

「弁当だと栄養が偏ってしまう、栄養士の献立はよいこと」、「これから仕事をしたいので有難い」、「アレルギーに対応できないのは残念」、「家庭弁当と給食を選択できる方式にしてほしい」などの意見が多く寄せられました。

給食にすれば嫌いな食べ物も友人と共に食べられるようになることや全員の給食は食育など勉強になる、といった声も聞かれました。また、給食の未納問題や集団食中毒への不安要素についての記述もありました。業者選定についてはプロポーザル方式など単に予算だけで決めるものではない、といった建設的な意見も頂きました。ここでも、いつかは自校給食にしてほしいという意見がありました。

□どちらかといえば反対

「給食は自校方式であるべき」、「食材、衛生面、集団食中毒など委託業者への不安」、「アレルギー対応、食事量の調節は重要なこと」、「全員給食ではアレルギーの生徒が弁当となり差別です」、「家庭弁当は子どもとのつながり」などの理由が挙げられました。

給食そのものに反対で家庭弁当がよいと思う方や給食は賛成だが、冷たく美味しくないと言われるデリバリー給食には賛成できないとする意見が寄せられました。ここでも自校給食への繋ぎなら納得できるが、という意見がありました。

□反対

「給食なら自校給食であるべき、アレルギー対応ができない給食はない」、「弁当は家庭の味」、「希望していないデリバリー方式なら選択制にして欲しい」、「選択制がないのにお金を払うのは困ります」、「業者委託は薬剤使用や集団食中毒など不安」などの意見が寄せられました。

デリバリー給食は冷たい、美味しくないので残飯が残るなど他校で聞かれる情報をもとにした記述もありました。家庭弁当は子どもとのコミュニケーションの一つとして大事にされている方など給食そのものに反対されている意見もありました。

○保護者が給食実施に向けて期待していること、課題と考えていること

- ◇まずは、給食の早期導入を期待しているが、将来的には自校方式の実現を望んでいる。
- ◇デリバリー給食を導入するにしても、家庭弁当と自由に選択できることを望んでいる。
- ◇食事量の調節を心配している。
- ◇委託業者について、衛生面、食材の安全面、アレルギー対応を含む事業内容などの情報、業者の選定方法の検討、試食会などを望んでいる。